

# まちの タカラ

## 記録映画界の振興に尽力

～映画監督 野崎健輔さん～



▲昭和58年度芸術祭で大賞を受賞した際の盾。

◀野崎さんの家族から送られてきた寄贈品を眺める門脇館長。さまざまなコンクールや大会で受賞した際の盾や飾りなど、8点が寄贈されました。

40年以上に亘って記録映画（ドキュメンタリー）のメガホンを握った野崎健輔さん。令和2年9月にこの世を去りました。野崎さんは、井尻地区出身の映画監督で、これまで数々の作品を残してきました。

昨年の秋、野崎さんの家族から、生前受賞した盾などを寄贈したいとの連絡がありました。「最初に名前を聞いたときは、分からなかったのですが、調べてみると、分かったのは、井尻交流センターの門脇和弘館長。「調べてみると、ドキュメンタリー映画の監督をされていて多くの受賞作を生み出している人だということが分かりました。せっかく寄贈いただくので、展示などをして多くの人に見てもらえるようにしたいですが、今はコロナのこともあるので、方法を考えています」と続けます。

野崎さんは、建設工事の様子や古代遺跡の研究などをテーマにしたドキュメンタリー映画を制作。芸術祭大賞や日本産業映画ビデオコンクール文部大臣賞などを受賞してきました。

「今回の寄贈を機に、井尻地区出身で日本の芸術振興に大きく貢献した方がいることを広く知ってもらいたい。可能であれば実際に作品を観る機会なども作れると良いと思っています」と門脇館長は期待を膨らませていきます。

## 編集後記

▼広報紙の編集で一番苦労するものの一つがこの編集後記。オチのある話やクスツと笑える文章が書けるといいのですが、毎回そうはいきません。いろいろな考えを、今回はこうして編集後記のことをネタにしてみました。ここで話題に困らないよう、日々、視野を広くして過ごしたいと思います(旬)

▼荒島小学校で行われたシイタケの原木栽培。1回種駒を原木に打ち込んでおけば、5～6年間は毎年収穫することができるようで、「高齢者が元気に楽しく」をモットーに活動している姥祖父クラブの皆さん。子どもたちから元気をもらい、参加した2年生が卒業するまで児童たちとの交流は続きます(一)

安来市の人口と世帯数 R3.1.31現在

人口合計 / 37,068人  
(男:17,836人 女:19,232人)  
世帯数 / 14,302世帯

